

「龍南中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立龍南中学校

2 学年・人数

全学年（計120人）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

令和元年9月6日（金） 総合的な学習の時間（本校玄関ホール）

令和元年9月14日（土） 総合的な学習の時間（本校グラウンド）

令和元年9月18日（水） 体育大会予行（町中央グラウンド）

（2）発表の日時・場所

令和元年9月23日（月） 体育大会（町中央グラウンド）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

八月踊り（はちがつおどり）

（2）由来

起源は定かではないが、旧暦8月のアラセツ（最初の丙の日）から、五穀豊穡を祈念して各地域で古くから踊られている。現在では奄美を代表する郷土芸能となっている。地域によって歌や踊り方が異なっており、それぞれの地域の特色となっている。

（3）構成等

男女に分かれた列から始まり、チヂン（太鼓）のリズムに合わせて男女の掛け合いによる歌で踊りながら、大きな円をつくっていく。

5 保存会や地域との連携の具体

6つの地域の区長さんに輪番（浦→大勝→戸口→瀬留・玉里→龍郷→中勝）で指導を依頼している。3回の練習で踊りや隊形を覚え、体育大会で披露する。地域の保存会の方々を中心に、生徒たちへ歌と踊りの指導をしていただく。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

（1）地域の方々が来校しやすい日程を設定する。チヂンや三味線の準備についての打合せをし、前年度から依頼する。

（2）年ごとに各地域での輪番を設定し、各地域の八月踊りの特徴を知る機会となるようにする。

（3）チヂンを叩く女性の方は限られているので、個別に声をかけるなどの配慮をする。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【地域の方による指導及び隊形を作っての練習風景】



【前年度の体育大会での発表の様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

地域が優しく声をかけて教えてくれたのでうれしかった。本番の体育大会で雨天のため披露することができなかったので残念だった。

【保護者】

後継者育成につながるので続けてほしい。

【保存会】

生徒の皆さんは練習に真剣に取り組んでくれた。なかなか歌詞を覚えて歌いながら踊るのは難しいと思うが、頑張ってもらいたい。